

テニュアトラック普及・定着事業のご案内

文部科学省 科学技術・学術政策局 基盤政策課

テニュアトラック制とは、公正で透明性の高い選考により採用された若手研究者が、審査を経てより安定的な職を得る前に、任期付の雇用形態で自立した研究者としての経験を積むことができる仕組みです。

文部科学省では、若い時期に自立して研究できる環境を整備し、優秀な若手研究者を育成するテニュアトラック制の普及・定着を推進するため、平成 23 年度より大学等を対象に以下のような支援を行っています。

【支援内容】

採用されたテニュアトラック教員に、研究費を支援（初年度：1 千万円（上限）、2 年度目：初年度の半額程度）

採用されたテニュアトラック教員の中から、特に優秀な者を選定し、研究費・人件費に使える経費（1,500 万円）を上乗せして支援

テニュアトラック制を導入する機関には、テニュアトラック教員の公募・審査や育成などテニュアトラック制を実施するための経費を支援

【支援対象機関】

大学、大学共同利用機関、独立行政法人

【補助対象となるテニュアトラック教員の要件】

博士号取得後 10 年以内の若手研究者を対象とすること

一定の任期（5 年）を付して雇用すること

公募を実施し、公正・透明な選考方法で採用していること

研究主宰者（Principal Investigator:PI）として、自立して研究活動に専念できる環境（例：研究資金の措置、研究支援体制の充実、研究スペースの確保、研究活動時間が全仕事時間の 70% 以上であること）が整備されていること

任期終了後のテニュアポスト（安定的な職）が用意されていること（昇任は必須条件ではありません。）

平成 23 年 11 月現在、テニュアトラック制は 48 大学（テニュアトラック教員数：延べ 646 人）で導入されています。実施大学からは、次のようなメリットがあるとの声が届いています。

<大学・研究機関にとってのメリット>

- ・優秀な若手研究者を採用できる
- ・優れた研究成果が上がっている
- ・外部資金の獲得が増えることにより、間接経費などの収入が増える

（例）科研費若手 A・B の採択率：テニュアトラック教員は 73%、学内の一般教員は 36%

<テニュアトラック教員のメリット>

- ・優れた実績を残せば安定的な職を得られる
- ・十分な研究費が配分されて、自立した研究環境の中で自分の研究に取り組める
- ・研究以外の業務が軽減されて十分な研究時間が確保できる

文部科学省では、「テニュアトラック普及・定着事業」の平成 24 年度の新規公募を行っています（公募期間；平成 24 年 1 月 6 日～5 月 7 日）

テニュアトラック普及・定着事業の支援内容や公募に関する情報については、文部科学省及び（独）科学技術振興機構ホームページをご覧ください。

文部科学省ホームページ：http://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/1314781.htm

（独）科学技術振興機構ホームページ：<http://www.jst.go.jp/shincho/program/wakate.html>

【お問い合わせ先】

文部科学省科学技術・学術政策局 基盤政策課 基礎人材係

TEL：03-6734-4021 e-mail：jinzai@mext.go.jp